

地域活動支援センターあんど

この障害をお持ちの方と
そのご家族が
地域で安心して生活するための
サポートを行っています



2016年9月より、高次脳機能障害で悩む人やそのご家族を支援するための相談窓口を開設しました。日常生活や治療、福祉サービス、就労のことなど当事者のみなさまが抱える悩みをともに考えていきます。

焦らずゆっくりとリハビリし
回復を目指しましょう！

人それぞれに異なる障害の特徴を理解し、周囲が適切なサポートをすることで、時間はかかっても少しずつ変化していきます

まずは症状に合わせたリハビリテーションを行って

いきましょう。日常生活の中で残っている脳機能を活かすように工夫すれば、脳内に新たなネットワークがつけられ、変化が促進されます。そのためにも、医療だけでなく行政や福祉が連携して支援に当たることが大切なのです。



できないことより、できることを見つけよう

交通のご案内



- ◆小田急「唐木田駅」下車徒歩8分
- ◆路線バス 多摩センター駅発日大三高行き「福祉センター」下車
- ◆ミニバス 多摩センター駅・永山駅発「総合福祉センター」下車



OPEN

月曜日～土曜日 8:30～17:00

※第2土曜日・日曜日・祝日・年末年始除く

〒206-0032
東京都多摩市南野3-15-1 多摩市総合福祉センター3階
電話/042-356-0348 FAX/042-356-1155

多摩市社会福祉協議会 地域活動支援センターあんど

高次脳機能障害支援 相談窓口のご案内



高次脳機能障害を
みんなに知ってもらい
助け合う社会を目指して
活躍しています。
よろしくニャン！

ご本人やご家族の方など
お気軽にお問合せください

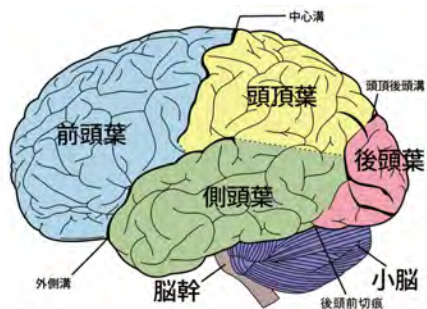
☎ 042-356-0348 (相談専用)
[http:// www.tamashakyo.jp](http://www.tamashakyo.jp)

“ 見えない障害 ”

高次脳機能障害とは？

私たち人間には、記憶や思考、判断を行う高度な脳の働き(高次脳機能)が備わっていますが、病気や事故などで脳に損傷を受けると、その機能の一部が失われることがあります。つまり、脳損傷の後遺症として現れるのが「高次脳機能障害」なのです。

発症しても外見上にはあまり変化がないため、障害があることに気づくことが難しく、そのことから「見えない障害」とも呼ばれています。障害の症状を怒りっぽさ、飽きっぽさ、怠けぐせといった性格の問題に受け取られてしまい、周囲からの理解を得られずにご本人、家族とも孤立してしまうことが少なくありません。



高次脳機能障害には、どんな原因があるの？

◎脳卒中

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など

◎外傷性脳損傷

交通事故・スポーツ事故・転倒・転落など

◎低酸素脳症

心臓停止により脳が酸欠になることで起こる

◎その他

脳炎・脳腫瘍・一酸化炭素中毒など

これらの症状にお心当たりはありませんか？

病気やけがの後にこれらの症状がみられる場合

「高次脳機能障害」の可能性がります。

ただし、すべての症状があてはまるわけではなく、症状の重複もあります。



気が散りやすく
仕事に集中できない
(注意障害)

忘れやすく、
新しいことが
覚えられない
(記憶障害)



段取りよく
ものごとを
進められない
(遂行機能障害)

道に迷うようになった
(地誌的障害)

言葉が上手に
話せなくなった
人の話が理解
できなくなった
(失語症)



行動や感情が
コントロールできない
(社会的行動障害)

片側のものを
見落としてしまう
(半側空間無視)



「地域活動支援センターあんど」では、このような支援を行なっています

相談窓口

高次脳機能障害が原因で学校や職場などに馴染めず、生活のしづらさを感じているご本人や家族のための相談窓口です。専門スタッフが対応し、さまざまな困り事について一緒に考えていきます。

生活リハビリ

「在宅障がい者デイサービス」「グループ活動」「言語訓練」「水中運動体験」などの生活リハビリをご提案します。訓練により、社会活動能力の向上を目指します。

地域との連携

高次脳機能障害支援にかかわる「家族会」「医療機関」「就労支援センター」「福祉事業所」などと連携し、生活支援や就労支援につなげます。

広報普及活動

高次脳機能障害についての理解を深めるために、パンフレット等の制作をはじめ、講演会や勉強会を開催するなど、支援の輪を広げるための啓蒙活動を進めています。